

デジカメWalker

Ulead iPhoto Express 4.0

ユーザ - ズガイド

デジカメWalker 第1版 2001年5月

© 2001 Ulead Systems, Inc.

All rights reserved.

本マニュアルの一部または全部について、文書によるUlead Systems, Inc.の許可を得ない限り、写真複写、録音、検索システムへの保存、またはほかの言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、およびその他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

ソフトウェアライセンス

本マニュアルに説明するソフトウェアは、本製品に添付されているライセンス契約に基づいて提供されています。このライセンス契約は、本製品に関して許可される使用および禁止される使用について規定しています。

ライセンスおよび商標

Ulead Systems, Inc.、Ulead、UleadロゴiPhoto ExpressはUlead Systems社の商標です。本マニュアルにおけるその他の製品名、登録商標、および商標の使用は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の財産権の侵害を意図するものではありません。

PhotoDisc® Copyright 2000, PhotoDisc.

サンプルファイル

プログラムCD-ROMにサンプルとして格納されているファイルは、個人的な展示、製作、および発表に使用することができます。これらのサンプルファイルを商業的に複製または再配布する権利は付与されません。

日本：

Ulead Systems Inc.

<http://www.ulead.co.jp>

E-mail: info@ulead.co.jp

その他の国：

Ulead Systems, Inc.

<http://www.ulead.com>

<http://www.uleadasia.com>

<http://www.ulead.com.tw>

E-mail: info@ulead.com.tw

ヨーロッパ：

Ulead Systems GmbH

<http://www.ulead.de>

E-mail: info@ulead.de

南北アメリカ：

Ulead Systems, Inc.

<http://www.ulead.com>

E-mail: info@ulead.com

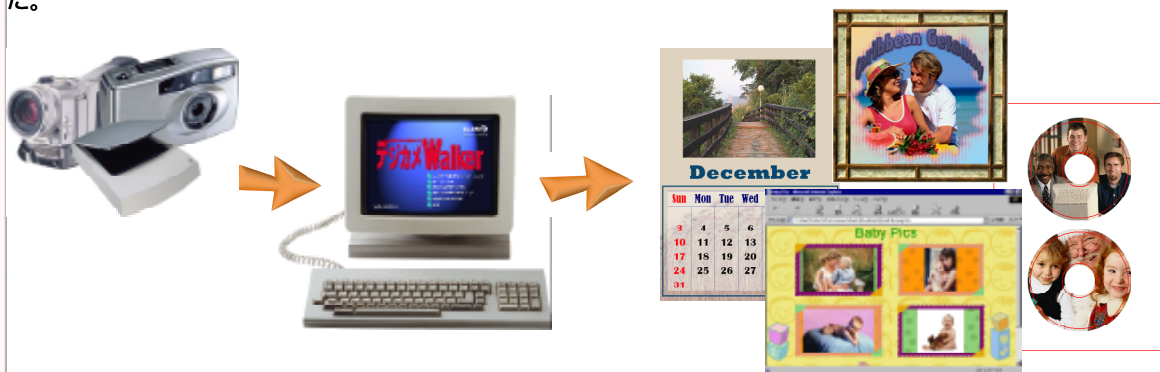
目次

デジカメWalkerへようこそ！	4
新機能	4
はじめましょう	6
概要	7
インタフェースのカスタマイズ	9
Uleadのリンク	9
ブラウズモード	10
フォトモード	11
プロジェクトモード	11
準備	12
デジタルデバイスから写真を入力する	12
一括修正	13
編集	14
適切なツールの選択	14
レッドアイツール	18
選択ツールの使い方	19
選択後の処理	21
オブジェクトについて	21
テキストの調整	22
テキストを引き立てるには	22
ペイントツールとクローンツールの使い方	24
効果メニュー	25
装飾の追加	27
フォトデータの活用	30
テンプレートの使い方	30
テンプレートのカスタマイズ	31
Webスタジオ	32
Webプロジェクト	33
アニメーショングラフィック	35
アニメーション効果の適用	36
マジックキューブアニメーション効果の適用	37
カレンダーとプランナー	39
プランナー	39
壁紙	39
印刷と共有	40
印刷	40
作業内容の保存	42
インターネットで共有	43
用語集	44
索引	46

デジカメWalker iPhoto Express 4.0へようこそ！

デジカメWalker iPhoto Express 4.0（以下、iPhoto Express）は、家族や友達と共有して楽しめるフォトやプロジェクトを作成するための画像編集ツールです。iPhoto Expressは単なるイメージ編集プログラムではありません。これはあなたの創造性を楽しく表現できるプログラムです。普通のピクチャを芸術的なグリーティングカードやカレンダー、バナー、アニメーションWebカード、Webページなどに変えることができます。

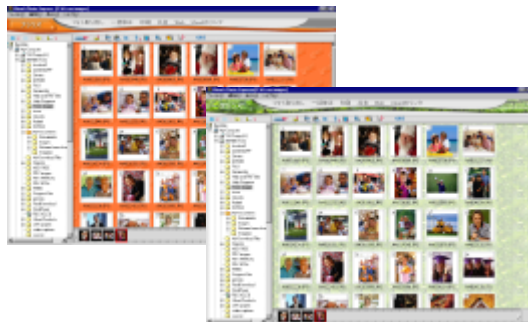
デジタル時代に入り、イメージをさまざまなデバイスから取り込めるソフトウェアが開発され、簡単にイメージを修正したり、仕上がった作品を手軽に配布する手段も利用できるようになりました。

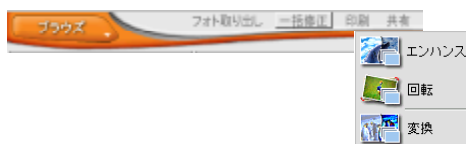


新機能

このバージョンのiPhoto Expressには、新しく機能やツールが追加されています。このプログラムに含まれるいくつかの機能を紹介します。

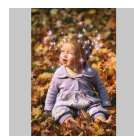
全く新しいインタフェース レイアウトを一新して、一層操作が簡単になりました。ファイルやフォルダの検索や、イメージの編集や調整をすべてiPhoto Expressの作業領域で行えるようになっていました。それだけではありません。インタフェースをカスタマイズできるように、スキンや背景が豊富に揃えられています。



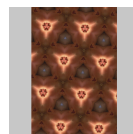


一括修正 個々のファイルを1つずつ開かなくても、複数のファイルに対して同じ調整内容を一度に適用できます。ファイル形式の変換も実行できます。

アニメーション効果 アニメーショングラフィックを作成してWebページに挿入したり、E-Mailで送信したりすることができます。花火、万華鏡、マジックキューブからプリセットを選択するだけで、後はiPhoto Expressが処理してくれます。



花火



万華鏡



マジックキューブ



iMira Uleadの提供する無料のフォト共有サービスによりオンラインフォトアルバムを利用できます。iMiraでアカウントを取得したら、iPhoto Expressから直接フォトをポストできます。

強化された機能とツール さまざまな機能が強化されて性能が高められています。また新しいツールもいくつか追加されています。



スマート選択ツールの強化



印刷オプションの追加



テキスト効果の追加



新しい署名ツール

はじめましょう

iPhoto Expressをインストールする

- 1 iPhoto ExpressのCDをCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 セットアップ画面が表示されたら、画面の指示にしたがってiPhoto Expressをインストールしてください。



メモ：CDをセットしてもセットアップ画面が表示されない場合は、Windowsのデスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてから[CD-ROMドライブ]アイコンをダブルクリックしてください。CD-ROMウィンドウが開いたら、[セットアップ]アイコンをダブルクリックしてください。

iPhoto Expressをインストールしたら、是非この時間を利用してオンライン登録を行ってください。iPhoto Expressが起動したら、[ヘルプ]メニューから[オンライン登録]を選択します。またはUleadのホームページ（<http://www.ulead.co.jp>）へアクセスしてください。正式ユーザとしてご登録いただきますと、Ulead Systemsより製品情報や最新情報をお届けするほか、無料テンプレートをダウンロードしたり、プログラムを使用する上で問題が発生した場合にはテクニカルサポートをお受けいただけます。iPhoto Expressは解像度を800x600以上に設定し、HiColor（15/16ビット）またはフルカラー（24ビット）モードでご使用ください。



（自動起動スクリーンは、iPhoto Expressのバージョンにより異なります）



iPhoto Expressを起動するには

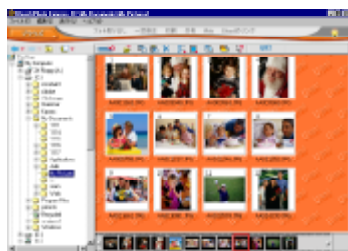
- デスクトップ上の [Ulead iPhoto Express 4.0] アイコンをダブルクリックします。
- Windowsの [スタート] メニューの中の [Ulead iPhoto Express 4.0] プログラムグループから [Ulead iPhoto Express 4.0] アイコンを選択します。

iPhoto Expressを使用していて使い方が分からないオプションやツールが表示されたら、ショートカットバー上の[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。カーソルの形が変わったら、詳しく知りたいオプションやツールをクリックすると、それらに関するヘルプが表示されます。

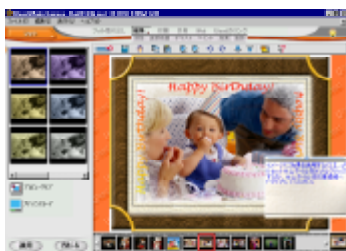


概要

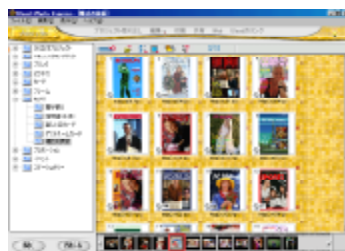
iPhoto Expressはイメージの参照から編集、作成に至るまで、1つの画面で実行できます。ここに、プログラムウィンドウのすべてのエレメントを紹介します。



ブラウズモード



フォトモード



プロジェクトモード

メニューバー

モードメニュー

メニューコマンドバー

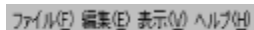
ショートカットバー

ガイドヒント
を開く



メニューバー

Windowsアプリケーションに共通するコマンドがあります。



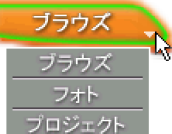
メニューコマンドバー

現在のモードで使用可能なコマンドカテゴリーとツールがリストされます。



モードメニュー

ブラウザ、フォト、プロジェクトの3つのモードを切り換えます。ブラウザモードではファイルを検索したり、整理したりします。フォトモードでは主にイメージの編集やエンハンスを行います。プロジェクトモードではテンプレートからカードやその他のアイテムを作成します。



ショートカットバー

現在のモード、コマンドカテゴリー、ツールによって、さまざまなコマンドが用意されています。



オプションパネル

任意の機能に対してさまざまな可能性や設定が表示されます。このパネルでツールの属性を設定できます。



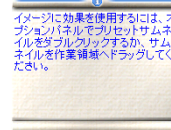
作業領域

実際にプロジェクトを見たり、編集したりする場所です。



ガイドヒント

電球をクリックすると選択している機能のヒントが表示されます。機能の基本をすばやく学びたいときに便利です。この機能をOn/Offにするには、[ファイル] [環境設定] を選択します (F6)。



グローバルビューア

サムネイルストリップの右側にあるこのツールは、画面に表示しきれない拡大されたイメージを確認するのに便利です。



サムネイルストリップ

開いているすべてのイメージが表示されます。サムネイルストリップのイメージをダブルクリックすると、そのイメージが作業領域に表示されます。




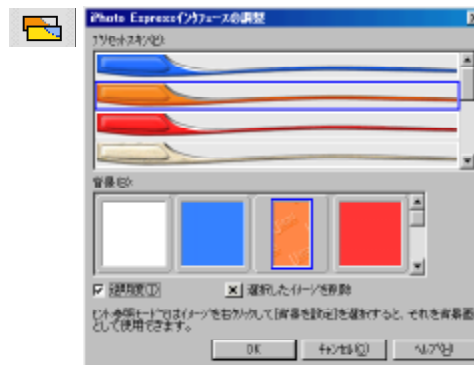
インタフェースのカスタマイズ

いつも同じウィンドウに飽き飽きしていませんか？ iPhoto Expressでは作業領域の背景やメニューコマンドバーのスキンを変えることができます。

スキンや背景を選択する


- 1 ショートカットバーで [iPhoto Express インタフェースの調整] をクリックします。
- 2 ダイアログボックスでスキンや背景のプリセットを選択します。
- 3 [OK] をクリックします。

 メモ iUlead Webサイトでは新しいスキンを簡単にチェックできます。 [Ulead のリンク] メニューから [スキンをダウンロード] を選択してください。



オリジナルイメージを背景として使うには

- 1 イメージをブラウズモードで選択します。
- 2 イメージを右クリックして、 [背景を設定] を選択します。

 ヒント : [iPhoto Express インタフェースを調整] のダイアログボックスにも透明度オプションがあります。



Uleadのリンク

定期的にUlead Webサイトにアクセスして、プログラムの最新情報やプロモーションニュースを確認してください。 [Ulead のリンク] メニューにはプログラムに関する便利なリンク集が用意されており、これらのWebページは直ちにiPhoto Expressの作業領域に表示されます。



ブラウズモード

ブラウズモードはマルチメディアファイルを探すのに便利です。オプションパネルにフォルダツリーがあり、選択したフォルダの内容は作業領域にサムネイルとして表示されます。

ショートカットバーや[表示]メニューからは、さまざまな表示オプションを選択できます。アイコンを並べ替えたり、サムネイルのサイズを変更したり、マルチメディアファイルの種類を指定したりすることができます。プログラムに組み込まれた検索ツールもファイルを検索するのに便利です。



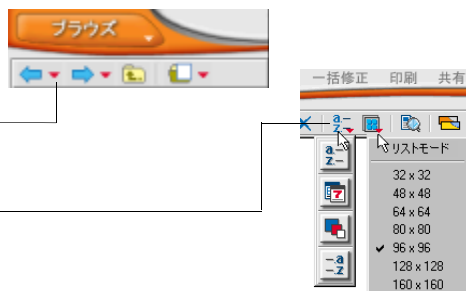
ブラウズモードの使い方

フォルダツリーからフォルダを検索して、それを選択します。



ヒント：

- 最近開いたフォルダ間を簡単に移動するには、フォルダツリーツールバー上のツールを利用してください。
- ショートカットバーか[表示]メニューのツールを使ってファイルの表示方法を変えます。
- +キーと-キーを使うとサムネイルサイズを変えることができます。



編集したいイメージが見つかったら、次のいずれかの方法でそれを作業領域に開いてください。

- サムネイルをダブルクリックする
- サムネイルを選択してショートカットバー上の[開く]をクリックする
- 選択したサムネイルをサムネイルストリップにドラッグする
- 選択したサムネイルを右クリックして[編集]を選択する



ヒント：CtrlキーかShiftキーを押しながらサムネイルをクリックすると、一度に複数のイメージを選択できます。



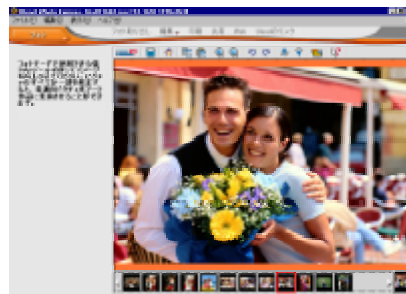
フォトモード

すでに作業領域にイメージが開かれている場合は、すぐにもイメージの編集や調整を開始できます。フォトモードにはプロジェクト用にイメージを準備したり、特殊効果を追加したり、微調整を加えたりするためのツールが豊富に揃えられています。

編集ツールや調整ツールはすべてメニューコマンドバー上の [編集] メニューから選択できます。[編集] を選択するとカテゴリーがリストされたサブメニューが表示されます。カテゴリーをどれでも選択すると、ツールが表示されます。



ヒント：ショートカットバーで [最近使用したコマンドを表示] をクリックすると、閉じたばかりのツールにすばやくアクセスできます。

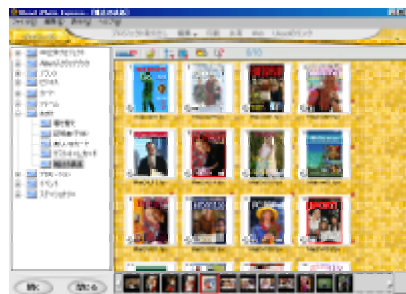


プロジェクトモード

プロジェクトモードでは、多くのテンプレートの中から気に入ったものを使って、オリジナルグリーティングカード、名刺、招待状、その他を作成します。プロジェクトモードではテンプレートファイルを開くだけでなく、テンプレートに任意のタイプのイメージファイルを追加してテンプレートをカスタマイズすることもできます。

プロジェクトテンプレートはメニューコマンドバーの [プロジェクト取り出し] メニューから選択できます。iPhoto Expressにはさまざまなカテゴリーが用意されています。

テンプレートの使い方については、30ページをお読みください。



準備

iPhoto Expressはデジタルデバイスからコンピュータに、簡単に効率よくイメージを転送するのに最高のツールです。

この章では、インポート処理を効率的に行う方法と、複数のイメージに対して一度に調整を行うための一括修正ツールの使い方について説明します。

デジタルデバイスから写真を入力する

フォトはどのモードでもコンピュータにインポートできますが、すべてのインポートオプションを紹介するために、ここではブラウザモードで作業していると仮定して手順を紹介します。

デジタルデバイスからイメージをインポートする手順は、基本的にはいずれも同じです。

イメージを入力する

- 1 [フォト取り出し] を選択してデバイスの種類を選択します。
- 2 オプションパネルでデバイスを選択します。
- 3 番号の前に付けるファイル名を入力します（例：Pict001、Pict002、など）。
- 4 ファイルの種類を選択します。
- 5 [入力] をクリックします（ Video Capture では [インポート] ）。



ヒント：

- [ポストプロセッシングを適用] インポートしたファイルに揃えや照明などの微調整を加えます。
- [スライスを実行] 複数のイメージを一度にスキャンして、いくつかのファイルに分割します。
- [TWAIN装置を表示] このオプションを選択しなければ、外部プログラム（TWAIN）を起動せずにイメージをスキャンします。

iPhoto Expressに組み込まれているUlead Video Captureを使うと、静止画を簡単にキャプチャできます。

Ulead Video Captureの使い方

- 1 プレビューウィンドウに気に入ったイメージが表示されたら、[Ulead ビデオキャプチャ] のダイアログボックスで [キャプチャ] をクリックします。
- 2 [キャプチャしたイメージ] プレビューボックスでCtrlキーを押しながらインポートしたいイメージを選択します。
- 3 [挿入] をクリックして選択したイメージを iPhoto Expressにインポートします。



ステップ 2



メモ：ビデオカメラの設定を変えるには、[アドバンス] を選択してください。設定についての詳細は、デバイスの取扱説明書をお読みください。

一括修正

これはiPhoto Expressの新機能です。複数のイメージに対して、ファイルを開かずに一度に調整を加えることができます。エンハンス、回転、変換などの調整が可能です。

一括修正の使い方

- 1 ブラウズモードで調整したいイメージを選択します。
- 2 [一括修正] メニューから調整内容を選択します。
- 3 エンハンスと回転については、適用したい調整内容のアイコンをクリックしてください。
- 4 調整が完了したら [次へ] をクリックします。
- 5 保存オプションを選択して、[保存] をクリックします。

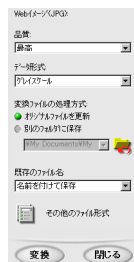


変換について

- 特定のフォーマットに変換するには、[その他のファイル形式] をクリックします。
- 選択した品質レベルによってファイルサイズが変わります。



ヒント：CtrlキーやShiftキーを押しながら、任意の複数枚の画像を選択できます。

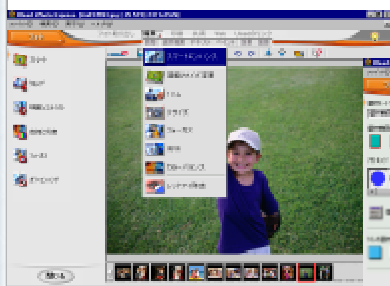


編集

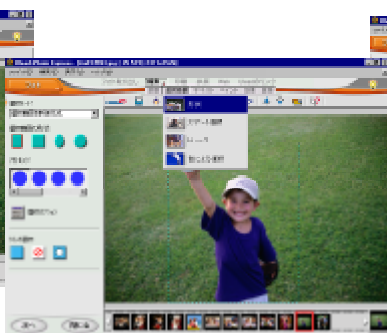
iPhoto Expressは写真撮影技術に関する知識のない方も、簡単に「完璧なフォト」を作成することができます。iPhoto Expressでは露出過度やピンぼけなど、ありがちな失敗を即座に修正することができます。

この章では、次の項目について説明します。

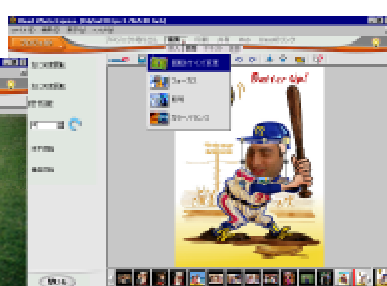
- 修正を行うために提供されている調整ツールと選択ツールの各種機能
- さまざまな種類のオブジェクトと機能



編集：スマートエンハンス



編集：形状



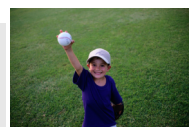
編集：回転&リサイズ

適切なツールの選択

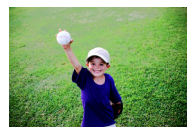
特にデジタルカメラやスキャナから撮り込んだイメージには、たいていある程度の調整が必要です。
[調整] メニューには次のようなツールがあります。

フォトの自動調整

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [スマートエンハンス] を選択します。
- 2 オプションパネルでツールを選択します。プログラムが自動的に各ツールに対する最適な設定値を検出し、アイコンをクリックすると同時にフォトが修正されます。



オリジナル



カラーエンハンス

イメージの回転とリサイズ

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [回転&サイズ変更] を選択します。
- 2 オプションパネルで回転か反転のアイコンをクリックします。
- 3 完了したら [閉じる] をクリックします。

メモ：

- イメージを正確に回転させるには、丸や角のコントロールハンドルを使用します。
- イメージの周りに表示されている丸いコントロールハンドルをドラッグして、イメージを任意のサイズに変えます。



高さ調整



手動回転



水平反転

イメージをトリムする

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [トリム] を選択します。
- 2 オプションパネルでトリム形状を選択します。
- 3 イメージ上でトリムする形状を調整します。
- 4 トリム形状に対するソフトエッジを指定します。ソフトエッジを適用すると、トリムした範囲のエッジを背景になじませることができます。
- 5 [適用] をクリックします。

メモ：

- トリムしたエリアから新しいイメージを作成するには、オプションパネルで [イメージを新規作成] を選択します。
- 範囲を選択してクロップ機能を使用すると、自由な形状を作成できます。詳細は 19 ページの「選択範囲の使い方」をお読みください。

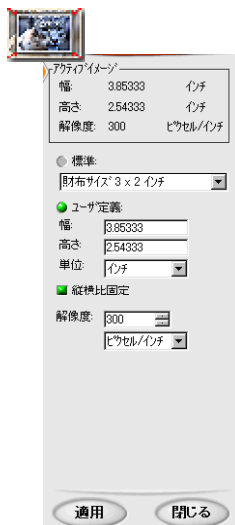


イメージをリサイズする

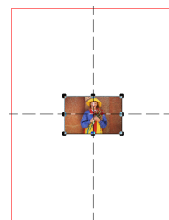
- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [リサイズ] を選択します。
- 2 オプションパネルで標準サイズを選択するか、[ユーザ定義] の欄にイメージのサイズを入力します。
- 3 [適用] をクリックします。

メモ:

- [縦横比固定] を選択してイメージの元の縦横比を維持します。
- イメージの解像度はイメージが用紙にどのように印刷されるかを決定します。低解像度のイメージは少ない量の大きいサイズのピクセルで構成され、高解像度のイメージは細かいサイズの多くのピクセルで構成されます。



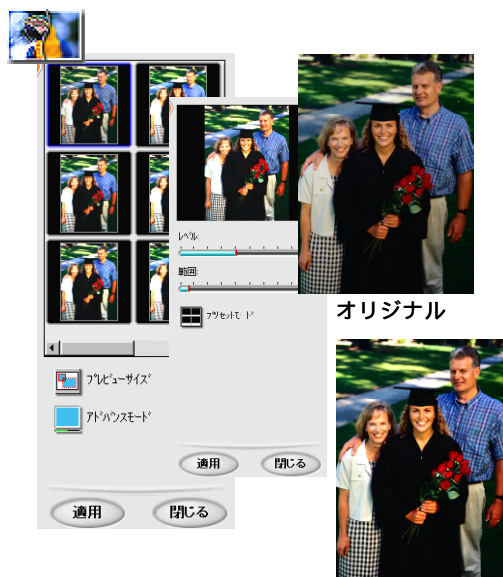
200 dpiの1156x763イメージ



400 dpiの1156x763イメージ

イメージのフォーカスを調整する

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [フォーカス] を選択します。
- 2 サムネイルをダブルクリックするか、サムネイルをイメージヘドラッグすることによって、フォーカスのプリセットを選択します。または、[アドバンスモード] ボタンをクリックして調整を行います。
- 3 アドバンスモードで [レベル] スライダと [範囲] スライダを使ってそれぞれの調整を行います。オプションパネルの上部にあるプレビューウィンドウには、調整の状況がリアルタイムで表示されます。
- 4 調整が完了したら、[適用] をクリックします。



調整後

イメージの照明を調整する

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [照明] を選択します。
- 2 サムネイルをダブルクリックするか、サムネイルをイメージヘッドラッグすることによって、照明のプリセットを選択します。または、[アドバンスモード] ボタンをクリックして調整を行います。
- 3 アドバンスモードで [明度] スライダ、[コントラスト] スライダ、[ガンマ] スライダを使って調整します。オプションパネルのプレビューウインドウには、調整の状況がリアルタイムで表示されます。
- 4 調整が完了したら、[適用] をクリックします。



カラーバランスを調整する

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[調整] [カラーバランス] を選択します。
- 2 サムネイルをダブルクリックするか、サムネイルをイメージヘッドラッグすることによって、カラーバランスのプリセットを選択します。または、[アドバンスモード] ボタンをクリックして調整を行います。
- 3 アドバンスモードで [シアンから赤]、[マゼンタから緑]、[黄色から青] を調整します。オプションパネルのプレビューウインドウには、調整の状況がリアルタイムで表示されます。
- 4 調整が完了したら、[適用] をクリックします。

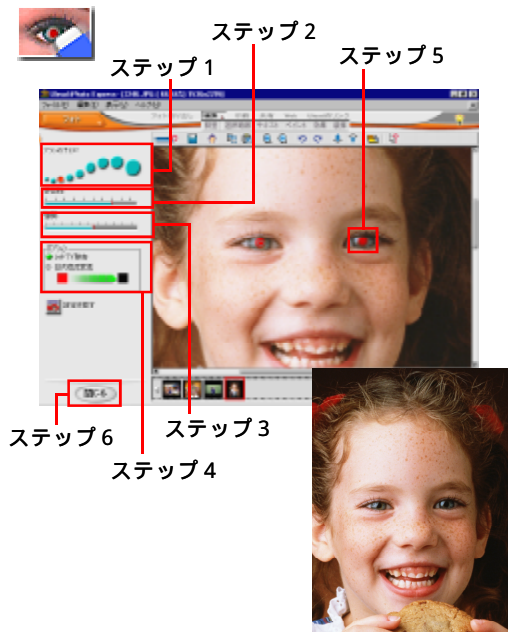


レッドアイツール

このツールはフラッシュにより生じたレッドアイを除去するのに便利です。またこのツールを使って瞳の色を変えることもできます。

レッドアイを除去するには

- 1 ブラシを使用する場合は、円の1つをクリックしてストロークサイズを定義し、ブラシのサイズを選択します。
- 2 調整する際の参考となるように、色の近似値を設定します。近似値を高くすると、より多くの部分が含まれます。
- 3 既存の色を置き換えるための色の濃度を指定します。
- 4 レッドアイ除去を選択して赤い目を黒に変えます。全く別の色に変えたい場合は、[目の色を変更]を選択した後カラーボックスをクリックして色を選択してください。
- 5 色を変えたいエリアをドラッグしてください。
- 6 良い結果が得られたら、[閉じる]をクリックします。



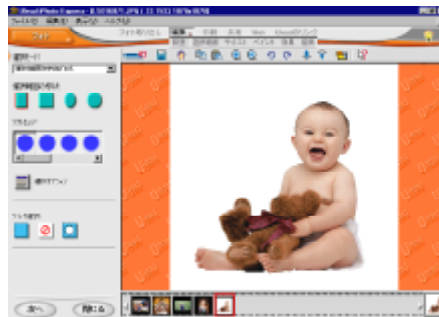
ヒント：

- [設定を戻す]をクリックするとデフォルトの設定に戻すことができます。
- +キーを押すとイメージが拡大され、-キーを押すと縮小されます。

選択ツールの使い方


ここまでの段階で、調整ツールについてはよくご理解いただけたはずですが。イメージによっては特定のエリアを調整するだけで良い場合もありますし、あるいはイメージからこれらのエリアを完全に削除してしまった方が良い場合もあります。このような状況で選択ツールが役に立ちます。範囲を選択することによって、残りの部分には変更を加えずに指定したエリアだけを修正することができます。

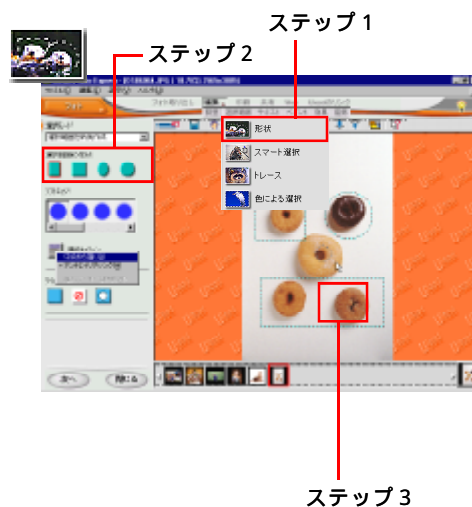
フォトモードで[編集] [選択範囲]メニューを選択すると選択ツールが表示されます。選択した範囲をドラッグするとオブジェクトに変換できます。これらのオブジェクトはフォトのほかの部分には影響を与えずに、移動させたり、編集、変更したりすることができます。また、これらをほかのイメージやプロジェクトにカットアンドペーストすることもできます。



単純な形状の範囲を選択するには

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[選択範囲][形状]を選択します。
- 2 オプションパネルで形状を選択します。
- 3 作業領域でカーソルをドラッグして範囲を選択します。
- 4 マウスを放すと範囲が選択されます。

 **メモ：**中央のポイントを参照点として範囲を作成するには、[選択オプション]のポップアップメニューから[中央から描く]を選択します。

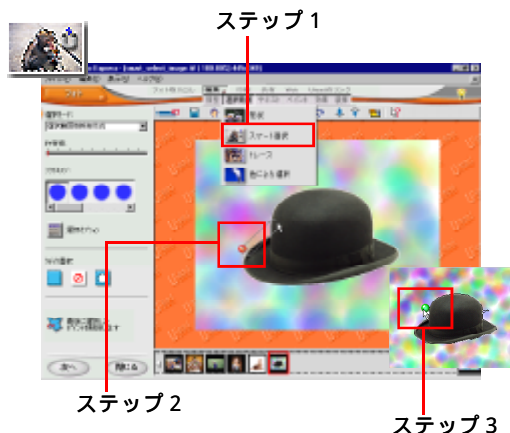


スマート選択ツールで範囲を選択する

- 1 フォトモードでメニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[選択範囲] [スマート選択]を選択します。
- 2 選択を開始するポイントをクリックします。赤いボタンが表れたら、イメージの周りをクリックして新しい参照点を作成します。
- 3 再度赤いボタンをクリックして範囲を閉じます。するとボタンが緑色に変わります。
- 4 現在の選択範囲を細かく調整するには、マウスを選択フレームに合わせて指の形に変えます。
- 5 選択範囲の枠をドラッグして調整します。
- 6 編集が完了したら緑色のボタンをクリックして実際に範囲を選択します。



ヒント：周りの色とエッジの色が似ている場合は、許容値のスライダーを左に動かしてください。



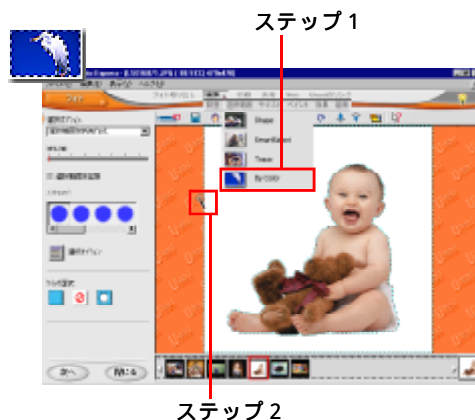
色による範囲の選択

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[選択範囲] [色による選択]を選択します。
- 2 ベースイメージをクリックするか、ドラッグして参照色を選択します。



メモ：

- 選択範囲の中に含まれる色域は、近似値によって決定されます。選択範囲がはっきりしない場合や、選択した色域全体がカバーされない場合は、近似値を調整する必要があります。
- [選択範囲を拡張] オプションを選択すると、イメージ全体から近似色に含まれるエリアが選択されます。



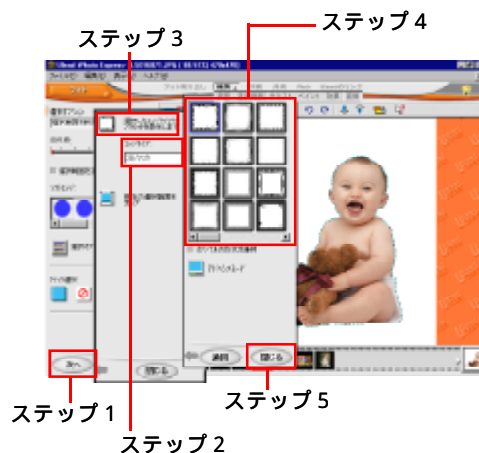
選択後の処理

選択した範囲はいろいろなことに利用できます。

- 選択範囲でフォトをクロップできます。つまり、選択した範囲が残され、ほかの部分が除去されます。オプションパネルで[次へ]をクリックした後、[現在の選択範囲でクロップ]をクリックしてください。
- エッジ効果を作成できます。

エッジ効果の使い方

- 1 [次へ]をクリックして他のオプションパネルを開きます。
- 2 ドロップダウンメニューからエッジタイプを選択します。
- 3 [選択したエッジタイプのプリセットを表示します]をクリックします。
- 4 プリセットをダブルクリックしてイメージに適用します。
- 5 完了したら[閉じる]をクリックします。



メモ：

- 選択範囲をドラッグするとオブジェクトに変換できます。またはサムネイルストリップから新しいイメージを選択することもできます。
- エッジのプリセットが現在の選択範囲の形状と異なっている場合は、[オリジナルの形状を維持]を選択すると形状を維持できます。
- アドバンスモードでは2D / マスク効果とマジック効果のエッジの色を選択できます。
- アドバンスモードでは入力したテキストに適用したテキストエッジ効果をカスタマイズすることができます。

オブジェクトについて

オブジェクトはイメージやプロジェクトに配置される単独のコンポーネントです。オブジェクトにはフレーム、シャドウ、テキスト、イメージ、背景が含まれます。*.UPX (イメージ) が *.TPX (プロジェクト) 形式で保存すると、各オブジェクトの特長と属性が維持されますので、いつでも編集し直すことができます。以下にオブジェクトについてのヒントを紹介します。

- ほとんどのオブジェクトはそれを作成するときに使用したツールで調整できます。
- ショートカットバー上の[オブジェクトレベル]ボタンをクリックすると、オブジェクトのレイヤーを調整できます。
- オブジェクトにどの程度背景を透かして見せるかを指定するには、オブジェクトを右クリックして[透明度]を選択します。
- イメージにオブジェクトを埋め込むには、オブジェクトを右クリックして[マージ]を選択します。

テキストの調整

フォトにテキストを追加すると、フォトを生き生きとさせ、それらをポストカード、グリーティングカード、招待状、バースデーカードに変えることができます。iPhoto Expressにはテキストに活用してプロジェクトを作成するためのツールが豊富に用意されています。テキストツールはフォトモードやプロジェクトモードで[編集]をクリックした後、[テキスト]を選択すると使用できます。

新規テキストを追加する

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[テキスト] [追加/編集]を選択します。
- 2 オプションパネルの[テキスト入力]ボックスにテキストを入力します。
- 3 オプションを正しい設定になるように調整します。
- 4 [新しいテキストを入力]オプションを選択して[適用]をクリックし、フォトやプロジェクトにテキストを追加します。
- 5 良い結果が得られたら、[閉じる]をクリックします。



ヒント：作業領域のテキストオブジェクトマーカーを調整すると、テキストを手動でリサイズできます。



メモ：テキストオブジェクトをダブルクリックして編集した後、オプションパネルで必要な調整を行い、[選択したテキストを更新]を選択してから[適用]をクリックしてください。

テキストを引き立てるには

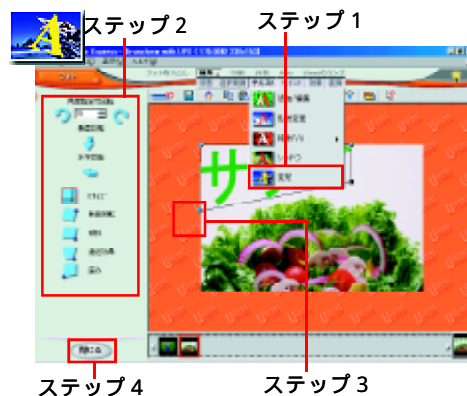
イメージにテキストを挿入するだけでも十分魅力的ですが、テキストを引き立たせたい場合はiPhoto Expressに備えられている効果を活用してください。



メモ：効果を活用するためにテキストツールを使用するには、作業領域でテキストオブジェクトを有効にしておく必要があります(クリックするだけです)。

テキストオブジェクトを変形させる

- 1 メニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[テキスト] [変形] を選択します。
- 2 オプションパネルで変形ツールを選択します。
- 3 マウスをコントロールハンドルに合わせます。ポインタが四方向の矢印になったら、任意の方向にドラッグしてください。
- 4 編集が完了したら [閉じる] をクリックします。



テキストオブジェクトの形状を変える

- 1 メニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[テキスト] [形状変更] を選択します。
- 2 オプションパネルのドロップダウンメニューからタイプを選択します。
- 3 サムネイルをダブルクリックするか、サムネイルをイメージヘッドラッグすることによって、プリセットを選択します。



注意：テキスト効果は iPhotoExpress SE バージョンで使うことができません。

ペイントツールとクローンツールの使い方

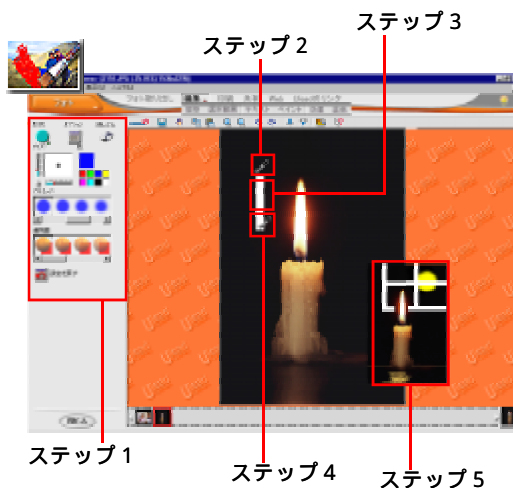
これらのツールは創造性を高めるのに非常に便利です。ペイントツールはイメージに自由なタッチを加え、クローンツールはイメージの一部を複製して面白い作品に仕上げます。ペイントツールはフォトモードで[編集]をクリックした後、[ペイント]を選択すると使用できます。

ブラシツールでペイントする

- 1 オプションパネルで必要な属性を調整します。
- 2 ペイントを開始したい位置にマウスを合わせます。
- 3 マウスを押したままドラッグします。
- 4 マウスを放すとストロークが終わります。
- 5 芯の部分ペイントします。思い通りに調整できたら[閉じる]をクリックしてください。

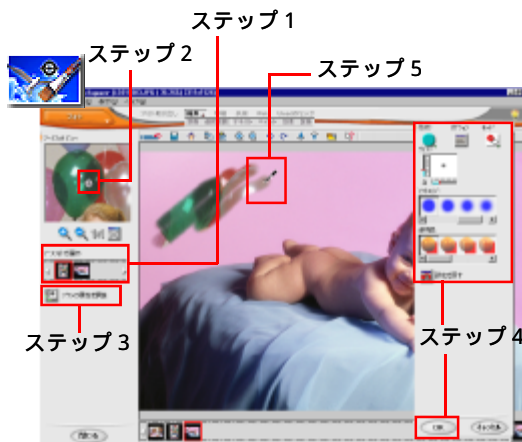


ヒント：Ctrl+Zを押すと最後の操作を元に戻すことができます。



クローンツールの使い方

- 1 オプションパネルの[ソースフォトを選択]のサムネイルストリップでサムネイルイメージをクリックします。
- 2 ソースフォトビューウィンドウでクリックすると、ソースイメージに参照点がマークされます。
- 3 [ブラシの属性を調整]アイコンをクリックします。
- 4 オプションパネルでその他の設定を調整し、[OK]をクリックします。
- 5 作業領域でターゲットのイメージをペイントするとクローンできます。



ヒント：ペイントしたいエリアを選択するには、選択ツールを使用します。詳しい使用方法については、19ページをお読みください。

効果メニュー

iPhoto Expressの[効果]メニューには、イメージを引き立たせるエンハンスツールや特殊効果が豊富に用意されています。さまざまなツールの中から気に入ったものを選択してください。創造性が一段と高まります。

イメージをアート作品に変える

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[効果] [アーティスト]を選択します。
- 2 [アーティスト]サブメニューからアーティストスタイルを選択します。
- 3 サムネイルをダブルクリックするか、サムネイルをイメージヘッドラッグすることによって、プリセットを選択します。または、[アドバンスモード]ボタンをクリックして調整を行います。
- 4 アドバンスモードでオプションを調整します。
- 5 調整が完了したら[適用]をクリックします。



ヒント：さまざまなアーティストツールをお試しください。驚くほどクリエイティブな効果を作成できます。

イメージにスポットライトを当てる

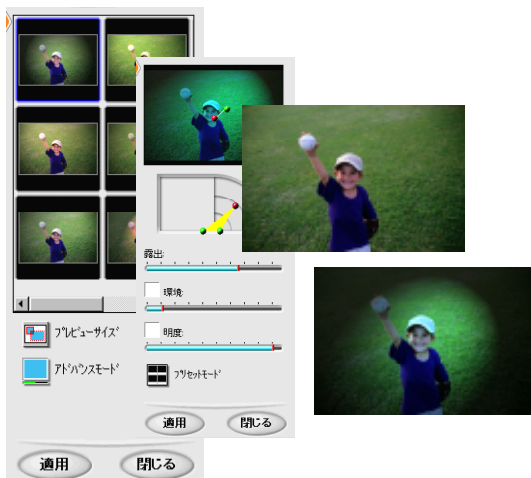
- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[効果] [レンズ]を選択します。
- 2 [レンズ]メニューから[スポットライト]を選択します。
- 3 サムネイルからスポットライト効果のプリセットを選択するか、[アドバンスモード]ボタンをクリックして調整します。
- 4 プリセットを選択するか、設定を変更した後、[適用]をクリックします。



色えんぴつ



スポットライト



イメージにバブルを追加する

- 1 メニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[粒子] [バブル] を選択します。
- 2 バブルのプリセットを選択し、[適用] をクリックします。または [アドバンスモード] ボタンをクリックしてバブルをカスタマイズします。
- 3 アドバンスモードでスライダを使ってバブルの量とサイズを調整し、サムネイルからプリセットのスタイルを選択します。
- 4 バブルの色を設定するには、[バブルの色を調整] ボタンをクリックして、サムネイルからカラープリセットを選択するか、手動で色を調整してください。
- 5 設定が完了したら [OK] をクリックして、[適用] をクリックします。



ヒント：星、バブル、蛍を選択しているときには、アドバンスモードでは個々のエレメントを編集することができます。いずれか1つをクリックして、オプションを自在に調整してください。エレメントを選択解除するには、プレビューウィンドウをクリックするか、[選択解除] ボタンをクリックしてください。

イメージに適用できるその他の効果



装飾の追加

フォトモードとプロジェクトモードの装飾カテゴリーには、さまざまな装飾効果が用意されています。これらは特殊なオブジェクトベースの効果です。この中にはフレーム、エッジ、小道具、シャドウなどのほか、フォトやフォトオブジェクトを引き立たせる署名ツールも含まれています。

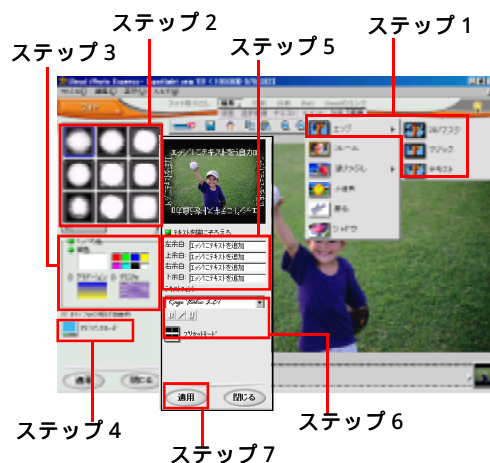
特殊エッジ効果を追加する

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[装飾] [エッジ]を選択し、エッジ効果のタイプを選択します。
- 2 オプションパネルの任意のエッジのプリセットを選択します。
- 3 サムネイルをダブルクリックするか、サムネイルをイメージヘドラッグすることによって、プリセットを選択します。



テキストエッジ効果の使い方

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[装飾] [エッジ] [テキスト]を選択します。
- 2 オプションパネルでプリセットのエッジを選択します。
- 3 [エッジの色]を選択し、テキストのエッジの色を選択してください。
- 4 [アドバンスモード]アイコンをクリックします。
- 5 テキストエッジ効果を適用するテキストを入力します。
- 6 ドロップダウンメニューからフォントを選択し、テキストエッジのフォントを選択します。
- 7 [適用]をクリックします。



メモ:

- [オリジナルの形状を維持]を選択すると、テキストエッジ効果を選択範囲やイメージの形状に合わせることができます。
- [テキストを端に合わせる]を選択すると、テキストを横の長さに合わせて伸縮させます。

イメージに署名を追加するには

- 1 メニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[装飾] [署名] を選択します。
- 2 オプションパネルでカテゴリーを選択します。
- 3 オプションパネルで署名のプリセットを選択します。
- 4気に入ったものをダブルクリックするか、[適用] をクリックします。またそれを任意の位置へドラッグすることもできます。

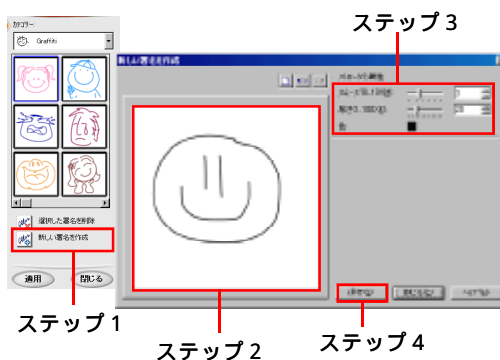


独自の署名を作成する

- 1 オプションパネルで [新しい署名を作成] ボタンをクリックします。
- 2 [新しい署名を作成] のダイアログボックスで署名を作成します。
- 3 必要に応じて設定を調整します。
- 4 [保存] をクリックします。



メモ：[保存] をクリックすると、[新しい署名を作成] ボタンを押す前にオリジナルの署名が [カテゴリー] 内 (オプションパネル) のサムネイルプリセットに追加されます。



イメージにフレームを付けるには

- 1 メニューコマンドバー上の [編集] をクリックした後、[装飾] [フレーム] を選択します。
- 2 オプションパネルでフレームを選択して [適用] をクリックします。



小道具を追加する

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[装飾] [小道具]を選択します。
- 2 オプションパネルでクリップアートのカテゴリーを選択します。するとこのカテゴリーのクリップアートが表示されます。
- 3 サムネイルウィンドウからクリップアートを選択します。
- 4 気に入ったものをダブルクリックするか、[適用]をクリックします。またそれを任意の位置へドラッグすることもできます。



ヒント：小道具オブジェクトをリサイズするには、[編集] [調整] [回転& リサイズ]を選択してください。



オブジェクトにシャドウを加える

- 1 メニューコマンドバー上の[編集]をクリックした後、[装飾] [シャドウ]を選択します。
- 2 [シャドウを追加] ボタンをクリックすると、選択したオブジェクトの下にハンドルが付いたシャドウが現れます。
- 3 シャドウハンドルをドラッグして位置を調整してください。
- 4 シャドウの色、透明度、ソフトエッジなどを調整します。

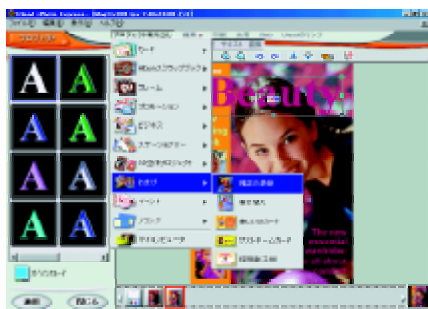


ヒント：オブジェクトからシャドウを除去するには、作業領域の中のオブジェクトを右クリックして、ポップアップメニューから[シャドウを除去] オプションを選択します。または、シャドウ効果のオプションパネル上で[シャドウを削除] ボタンをクリックします。このオプションパネルで[シャドウを追加] ボタンをクリックすると、シャドウを復元できます。



フォトデータの活用

インポートしたフォトを編集、エンハンスした後は、プロジェクトを出力するためのツールセットを使用します。アニメーションWebページ、カレンダー、カード、ポスターなどには、テンプレートを利用すると便利です。



プロジェクト入カツール



Webツール

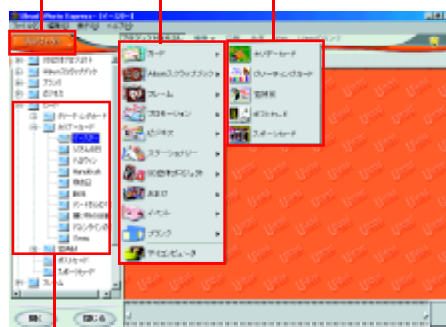
テンプレートの使い方

Webページ、グリーティングカード、レターヘッドを上手くレイアウトすることは簡単なことではありません。しかしiPhoto Expressにはさまざまなテンプレートが用意されていますので、レイアウトに頭を悩ます必要は全くありません。テンプレートは必要に応じてカスタマイズすることが可能です。

テンプレートを選択する

- 1 [モード]メニューをクリックして[プロジェクト]を選択します。
- 2 メニューコマンドバーで[プロジェクト取り出し]を選択します。サブメニューにプロジェクトテンプレートのカテゴリーが表示されます(フォルダツリーの構造はWindows エクスプローラと同じです)。
- 3 サブカテゴリーを選択すると、作業領域にそのテンプレートが表示されます。
- 4 テンプレートをダブルクリックして作業領域に開きます。

ステップ1 ステップ2 ステップ3



ステップ4

テンプレートのカスタマイズ

選択したテンプレートは、カスタマイズすることができます。テンプレートはプロジェクトに合わせて変えられるいくつかのエLEMENTから構成されています。ここにテンプレートをカスタマイズする例を紹介します。

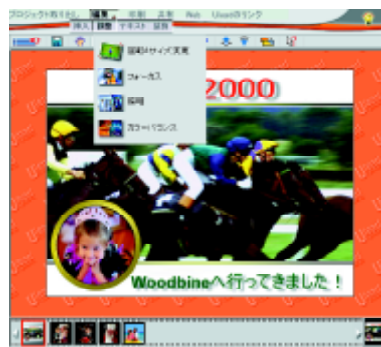
iPhoto ExpressにはWeb上で1つのイメージを共有できるテンプレートが豊富に揃っています。この機能は気に入ったイメージを他の人と共有するのに便利です。

E-MailやWebサイトにポストして共有できる、電子フォトアルバムを作成してみませんか（参照モードでのみ有効）？

友達にフォト、ビデオ、サウンドなどを組み込んだマルチメディアWebカードを送ってびっくりさせてください。



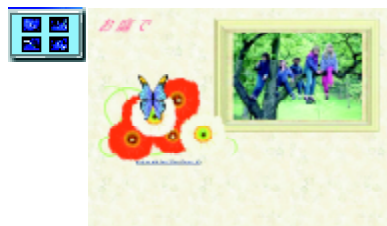
メモ：WebショーはWebページで簡単に上映することのできるオリジナルスライドショーです。フォトをテンプレートに挿入して、友達に送信したり、ディスクに保存したり、CDに焼き付けたりすることができます（参照モードでのみ有効）。



Webスタジオ

Webスタジオプラグインはコードを書かなくてもカッコイイWebページを作成するためのツールです。Webスタジオにはそのまま使えるテンプレートのコレクションが充実しています。これを活用すると、すぐにWebページの作成に取りかかることができます。

WebページにはWeb上で1つのイメージを共有できるテンプレートが豊富に揃っています。この機能は気に入ったイメージを他の人と共有するのに便利です。



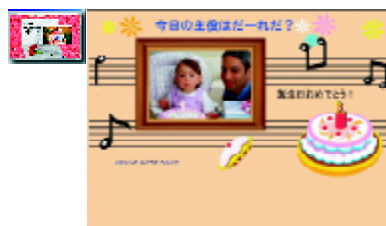
Webページ

E-MailやWebサイトにポストして共有できる、電子フォトアルバムを作成してみませんか（参照モードでのみ有効）？



Webアルバム

友達にフォト、ビデオ、サウンドなどを組み込んだマルチメディアWebカードを送ってびっくりさせてください。



Webカード

WebショーはWebページで簡単に上映することのできるオリジナルスライドショーです。フォトをテンプレートに挿入して、友達に送信したり、ディスクに保存したり、CDに焼き付けたりすることができます（参照モードでのみ有効）。



Webショー

Webプロジェクト

Webスタジオの機能はオプションパネルで設定できます。各パネルをナビゲートするには、オプションパネルの下にある[次へ]ボタンと[戻る矢印]ボタンを使います。

レイアウトの選択

- 1 [テンプレート] ドロップダウンメニューをクリックしてカテゴリリストを開きます。オプションパネルでカテゴリを選択します。
- 2 サムネイルを選択するとそれが作業領域に表示されます。
- 3 [次へ] をクリックします。



メモ：このパネルからWebカードを作成できます。



カスタムタイトルとイメージ情報を追加

- 4 [タイトル] 欄にタイトルテキストを入力します。
- 5 [説明の種類] ドロップダウンメニューをクリックして[ユーザ定義]を選択し、キャプションを入力します。
- 6 [次へ] をクリックします。



メモ：WebアルバムとWebショーでは、複数のイメージが選択されている場合は、[説明の種類]で[ユーザ定義]を選択すると、[次へ]をクリックした後もう1つ別のパネルが表示されます。ここで各イメージの説明を入力してください。

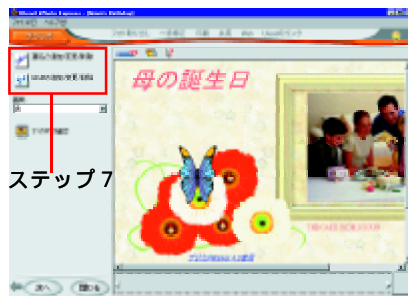
WebアルバムとWebショーでは、[フォトの順番]をクリックするとダイアログボックスが開きます(複数のイメージが選択されている場合のみ)。ここではイメージの順番を変えることができます。



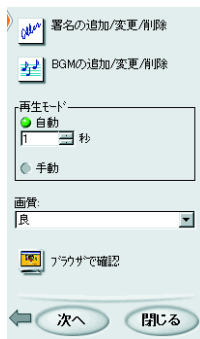
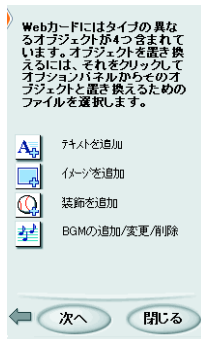
別の装飾を追加する

7 このパネルで有効なすべての機能は、それぞれのアイコンをクリックすることによって追加できます。

- 署名は通常、名前やE-Mailアドレスなどの連絡先を挿入するときに使用します。
- BGMはプロジェクトを表示すると自動的に再生されます。このツールを使ってミュージックファイルを変更したり、削除したりしてください。



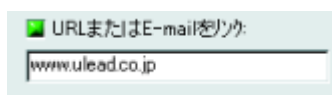
Webカードのみ あらかじめデザインされたWebカードには多くのエレメントが含まれています。それらのエレメントは作業領域で選択した後、自在に調整することができます。



Webショーのみ Webショーの再生モードを設定します。各イメージを表示しておく時間はあらかじめ設定することができます。またはボタンをクリックしてイメージを手動でナビゲートすることもできます。



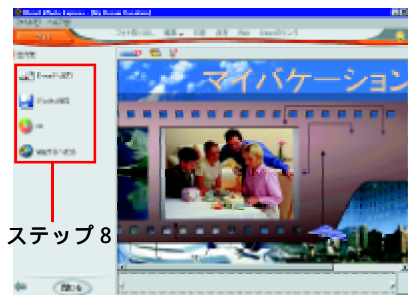
ヒント：Webカードの場合は、テキストやイメージオブジェクトをWebサイトやE-Mailアドレスにリンクすることができます。まずテキストかイメージオブジェクトを選択してからオプションパネルで「URLまたはE-mailのリンクを作成」を選択します。次にURLやE-Mailアドレスを入力してください。



プロジェクトを共有する

8 Webプロジェクトの出力タイプを選択します。

- CD CD-ROMドライブに挿入したときに自動的に再生されるように、必要なファイルが作成されます（WebアルバムとWebショーで有効）。



- Webサイトへポスト Webプロジェクトをドロップダウンメニューから選択したWebサービスのアカウントにアップロードします。



ヒント：

- アカウントを作成するには、Webサービスを選択した後「アカウントの作成」をクリックして選択したサービスの登録ページにアクセスします。
- Webサービスへのファイルアップロードの履歴を見るには、「Uleadのリンク」[Webへのポスト履歴]を選択します。ポストしたページへのリンクを持つE-Mailを送信することもできます。



アニメーショングラフィック

動画をWebにポストしたり、E-Mailで送信したりする前に、ディスクに保存したり、Webページにレイアウトしたりするためのアニメーション機能が新しく追加されました。

- 1 イメージを選択した状態で「Web」メニューからアニメーション機能の1つを選択します。
- 2 オプションパネルでプリセットを選択してイメージに適用します。
- 3 ショートカットバー上の「アニメーションのプレビュー」ボタンをクリックします。満足のいく結果が得られたら、ショートカットバー上の「中止」ボタンをクリックした後で「次へ」をクリックしてください。
- 4 「GIFアニメーションファイル」をクリックしてファイルをディスクに保存するか、「Webページに出力」をクリックしてWebページを作成します。



ヒント：

- アニメーションで最初のフレームしか表示されません。
- 1つのマジックキューブアニメーションファイルは最高6個のイメージから構成できます。
- GIFアニメーションファイルとして保存する場合は、フレームの数を増やすと自然なアニメーションになります。ただし、ファイルサイズが大幅に増加しますので注意してください。

カレンダーとプランナー

[カレンダー] はすべてのモードで [共有] メニューから選択できます。この機能は4つのオプションパネルで設定できます。各パネルをナビゲートするには、オプションパネルの下にある [次へ] ボタンと [後矢印] ボタンを使います。

カレンダーを作成する

- 1 イメージ (フォトモード) かテンプレート (プロジェクトモード) を開き、[共有] [カレンダー] を選択します (同じ設定をいくつものイメージに適用したい場合は、参照モードで複数のイメージを選択すると簡単です)。
- 2 オプションパネルでカレンダーの種類と方向を選択し、気に入ったスタイルのサムネイルをクリックしてカレンダーテンプレートを設定します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 年、月、週のいずれかにより開始日を設定して、[次へ] をクリックします。



メモ：調整可能な項目は、選択したカレンダーの種類によって異なります。

- 5 追加または修正したいテンプレート要素のアイコンをクリックします。



メモ：[選択した要素を修正] オプションは現在アクティブな要素により異なります。

- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 作品を友達や家族と共有するための方法を選択します。

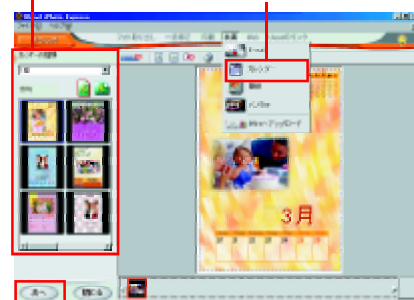


メモ：

- Windowsのデスクトップの壁紙にはカレンダーを使用することもできます。この場合は、Ulead カレンダーチェッカーが自動的に更新してくれます。
- [テンプレートの管理] を使って現在のカレンダープロジェクトをテンプレートとして保存しておくことができます。

ステップ 2

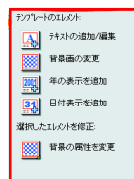
ステップ 1



ステップ 3



ステップ 4



ステップ 5



ステップ 6

ステップ 7



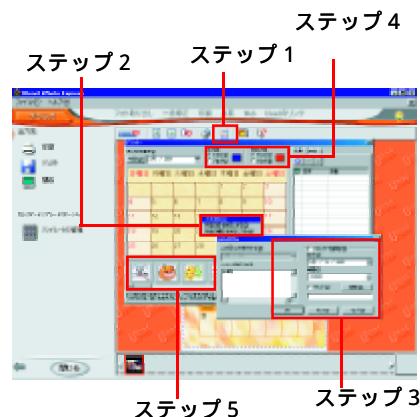
ヒント：オブジェクトを右クリックすると、さまざまなコマンドに簡単にアクセスできます。

プランナー

iPhoto Expressには「プランナー」という機能が付いています。この機能はカレンダー機能を使用しているときに、ショートカットバーから選択できます。

プランナーの使い方

- 1 ショートカットバー上の[プランナー]ボタンをクリックすると、[プランナー]のダイアログボックスが開きます。
- 2 日にちをクリックしてプランナーオプションのメニューを開き、必要な情報を入力します。
- 3 ポップアップリマインダ - を追加すると、指定した時間にサウンドと共に表示されるように設定することができます。メモや休日を設定されている日にリマインダ - を設定する必要はありません。
- 4 メモや休日のテキストの色を変更します。
- 5 プランナーにオリジナル性を持たせるために、特定の日にクリップアートを追加します。

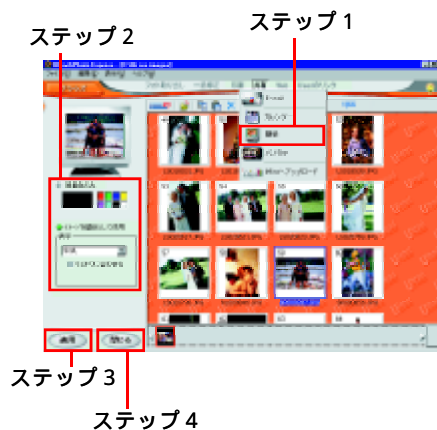


壁紙

気に入ったイメージをデスクトップの壁紙として使えるように設定します。

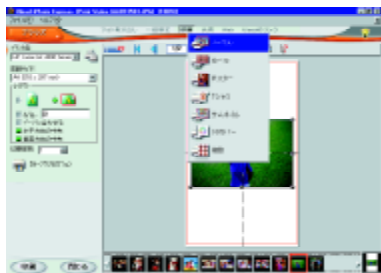
デスクトップの壁紙を変える

- 1 フォトモードかプロジェクトモードでイメージを開くか、ブラウズモードでメニューコマンドバーからイメージを選択した状態で[共有][壁紙]を選択します。
- 2 オプションパネルでディスプレイ形式を選択します。
- 3 [適用]をクリックしてデスクトップの壁紙を設定します。
- 4 [閉じる]をクリックします。

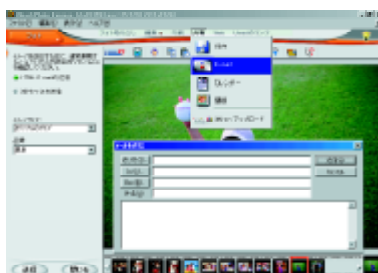


印刷と共有

フォトに仕上げのタッチを施したら、友達や家族と作品を共有してください。この章では、印刷オプションと、インターネット上で作品を共有する方法について説明します。



ペイントツール



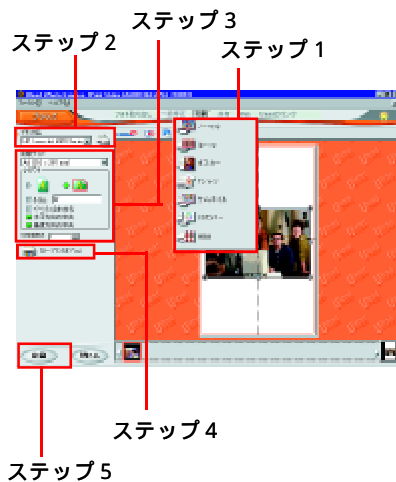
共有ツール

印刷

ポスター、名刺、シール、Tシャツなど、オリジナルのグッズを作成できます。iPhoto Expressで有効なすべての印刷オプションを設定するには（〔複数〕を除く）、次の手順にしたがってください。

基本的な印刷の手順

- 1 ブラウズモードでイメージを選択します。次にメニューコマンドバーで〔印刷〕を選択し、適切な印刷オプションを選択します。
- 2 オプションパネルでプリンタが正しく選択されていることを確認してください。プリンタの設定を変更する必要がある場合は、〔プリンタのプロパティ〕のダイアログボックスを開きます。
- 3 〔用紙サイズ〕と〔方向〕を選択します。
- 4 印刷部数を選択します。
- 5 〔印刷〕をクリックします。



注意：

- 複数のイメージを選択したときに 1 ページに収まらない場合は、ショートカットバーの矢印キーを使ってイメージ/ページをナビゲートしてください。
- イメージの印刷位置を正確に調整するには、ショートカットバー上の〔印刷エリアを修正〕ボタンをクリックして、印刷エリアを調整してください。
- フォトモードでは、現在作業領域に開いているイメージしか印刷できません。
- サムネイルとC D カバーの印刷オプションは参照モードでしか使用できません。



複数

複数印刷オプションは [印刷] メニューから選択できるほかのオプションとは異なりますので、それぞれの手順にしたがう必要があります。

複数のイメージを 1 ページに印刷する

- 1 印刷したいイメージを選択したら、[印刷]
[複数]を選択します。
- 2 イメージを印刷する方向を選択して、[次
へ]をクリックします。



メモ：レイアウトのイメージは並べ替えたり、リサイズしたり、配置を換えたりすることができます。イメージフレームをクリックしてイメージをアクティブにしたら、調整を行ってください。

- 3 任意のサムネイルをイメージフレームにドラッグして、イメージを追加したり、置き換えたりしてください。その後で [次へ] をクリックします。
- 4 印刷部数を選択したら、[印刷] をクリックします。



メモ：サムネイルストリップのイメージを使ってレイアウトのイメージを置き換えることもできます。



その他の印刷オプション



作業内容の保存

予期しない出来事に備えて、定期的に作業内容を保存するようお勧めします。プロジェクトを*.TPX形式（イメージファイルの場合は*.UPX）で保存すると、ファイルを再度開いたときに個々のオブジェクトを編集することができます。

フォトやプロジェクトを保存する

- 1 メニューコマンドバーで[共有] [保存]を選択します。
- 2 オプションパネルで保存先とファイル名を指定します。
- 3 ドロップダウンメニューから[ファイル形式]を選択します。
- 4 [保存]をクリックします。



メモ：

- データ形式はイメージに含まれるカラー情報の量を決定します。多くの情報が含まれるほど、ファイルサイズは大きくなります。最も情報の多いタイプはフルカラーです。インデックス256色とグレースケールはそれぞれ最高256色を持ち、ファイルサイズも比較的小さくなります（48ビットフルカラーと16ビットグレースケールはTIF形式に対応しています）。
- 保存可能なファイル形式は次の通りです。BMPとTIFは最高の品質を維持できます。JPEGは品質をそれほど劣化させずにファイルサイズを縮小できるため、WebにポストするフォトやE-Mailで送信するフォトなどに適切な形式です。UPXはマージしていないフォトやフロートオブジェクトに適切な形式です。これらのオブジェクトは、iPhoto Expressでファイルを開くと再び使用することができます。



インターネットで共有

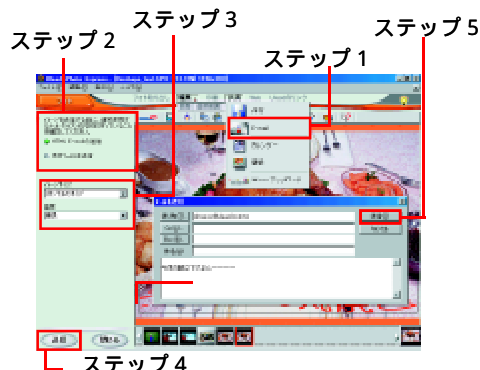
iPhoto Expressではインターネットを活用したさまざまな方法でイメージを友達や家族と共有することができます。

E-mail

iPhoto ExpressはMicrosoft Outlook、Microsoft Outlook Express、Netscape Messenger、Qualcomm Eudoraといった一般的なE-Mailアプリケーションに対応しています。

イメージをE-Mailで送信する

- 1 メニューコマンドバーで[共有] [E-mail]を選択します。
- 2 オプションパネルで[HTML E-Mailの送信]を選択するか(イメージがE-Mailメッセージのボディとして表示されます)、単純にファイルを添付して送信します。
- 3 イメージのサイズと品質を調整します(GIFアニメーション、オーディオ、ビデオファイルでは使用できません)。これらの設定はファイルサイズに影響します。
- 4 [送信]をクリックして[E-Mailを送信]のダイアログボックスを開き、必要な情報を入力します。
- 5 [送信]をクリックします。



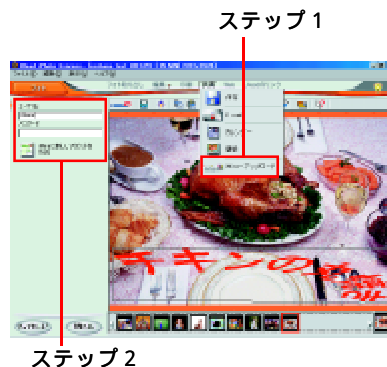
メモ: [メールを分けて送信] オプションを選択すると、1人の受信者に対して各イメージを別々のE-Mailで送信します。この方法を使用すると複数のイメージを送信する際、早くダウンロードできます。

iMiraへポスト

フォトを表示できるインターネット上のオンラインギャラリー(無料)です。

iMiraへアップロードする

- 1 モード設定に関係なく、メニューコマンドバーから[共有] [iMiraへアップロード]を選択します。
- 2 すでにiMiraにアカウントをお持ちの方は、オプションパネルの欄にユーザ情報を入力して[アップロード]をクリックします。



用語集

HTML

HTMLはWWW上にハイパーテキストを発行するための専用言語です。HTMLは<h1>や</h1>のようなタグを使って見出し、パラグラフ、リスト、ハイパーテキストリンクなどを構成します。これらのコードはWebページの背景に隠されています。

iMira

無償のオンラインフォト共有サービスです。作成したオリジナルのフォトアルバムを友達や家族と手軽に共有することができます。

Uleadのリンクメニュー

便利なiPhoto Express関連Webサイトにすばやくアクセスできるメニューです。

Webスタジオ

[Web] メニューから選択できるツールや機能のコレクションです。Webページ、カード、アルバム、ショー、アニメーショングラフィックなど、さまざまなWeb関連プロジェクトを作成するのに使用できます。

アドバンスモード

必要に応じて細かく変更することができるように、選択したツールや効果のオプションが含まれています。

一括修正メニュー

複数のイメージを一度に修正できるツールがあります。

エッジ

写真の端を破れたように見せる特殊効果です。

オブジェクト

これはiPhoto Expressのプロジェクトの中にある「モノ」であり、認識可能なコンポーネントです。オブジェクトの例としては、フレーム、シャドウ、テキスト、背景などがあります。それぞれが独自の特性と属性を持っています。

オプションパネル

これはiPhoto Expressのユーザインタフェースの左側に配置される、ツールや効果をカスタマイズする場所です。

壁紙

Windowsデスクトップの背景として、イメージや単色を使用できます。

共有メニュー

フォトやプロジェクトを出力するためのツールが含まれています。フォトやプロジェクトは保存したり、E-Mailで送信したり、無償のフォト共有サービスにポストしたり、Windowsデスクトップのカレンダーや壁紙として使用したりすることができます。

クリップアート

そのまま使えて、サイズも変えられるイラストです。アートワークとして自在にカットアンドペーストできます。

クローン

イメージの一部を同じイメージやほかのイメージにコピー、または複製することです。

グラデーション

2色以上の色を徐々に移行させる技術です。

グローバルビューア

サムネイルストリップの右側にあるウィンドウで、画面に表示しきれない部分をすばやく見ることができます。

効果メニュー

写真を向上、調整、修整するために使用できる多くのツールが含まれています。

小道具

プロジェクトを楽しみながら作成できる、プロジェクトに追加できるクリップアートオブジェクトです。

サムネイル

イメージを小さく、低解像度で現したものです。

サムネイルストリップ

スクリーンが一番下に表示される小さいストリップです。ここには現在開いているすべてのイメージとプロジェクトが表示されます。サムネイルストリップ上でサムネイルを1回クリックすると、

それを大きくプレビューすることができます。また、2回クリックすると、そのイメージが作業領域に開かれます。

ブラウズモード

マルチメディアファイルをすばやく簡単に探し出し、整理するモードです。

ショートカットバー

iPhoto Expressの作業領域の一番上に配置されており、頻繁に使用するコマンドに簡単にアクセスできます。

スキン

UIの表示を変えるためのコンポーネントで、カスタマイズが可能です。

選択範囲

選択範囲と選択ツールはイメージ上の一部を選択するためのものです。これらを活用すると、選択しなかった部分には影響を与えずに効果や修正をほどこすことができます。範囲はフリーハンド、色、形状によって選択できます。選択範囲はオブジェクトへ変換できます。

装飾メニュー

フレームやシャドウなど、シンプルなイメージにクリエイティブなタッチを与えるツールや効果が含まれています。

ソフトエッジ

オブジェクトのエッジを背景にぼかすための機能です。値を高くするほどエッジが広くぼかされます。

テンプレート

ユーザのイメージやテキストで簡単にカスタマイズできるプロジェクトデザインです。これらを上手く活用すると、新しいプロジェクトにすばやく取り掛かることができます。また、一度使用したテンプレートを保存しておき、別なプロジェクトで再度使用することも可能です。

透明度

重ねられたオブジェクトやイメージで、下のレイヤーをどの程度浮き上がらせるかを示す可視性のことです。これは適用した効果の強弱にも影響します。

塗りつぶし

選択範囲に色を適用したり、除去したりするプロセスのことです。

フォトモード

ほとんどのイメージ編集や調整はこのモードで行います。

フレーム

イメージにフレームを付けたり、境界線を付ける効果です。

ブラシ

イメージにペイントするためのものです。

プリセットモード

選択したツールを使った、あらかじめ設定を定義しておいたサンプルが用意されています。サンプルサムネイルをドラッグするか、ダブルクリックするだけでイメージをすばやく向上させることができます。

ブレースホルダー

プロジェクトテンプレート内のアクティブなエレメント上に現れるボタンです。エレメントを調整したり、置き換えたりできることを示しています。このボタンをクリックすると、使用可能なオプションが表示されます。

プロジェクトモード

このモードでは創造性を拡張するために、さまざまなプロジェクトや便利なテンプレートを利用できます。

マーキー

オブジェクトや選択範囲を囲むアウトラインです。選択マーキーは点線で表されます。オブジェクトマーキーは直線で表されます。

マジックテキストチャ

背景を作成したり、オブジェクトや選択範囲を塗りつぶすために使用するランダムなカラーパターンです。

メニューコマンドバー

プログラムのユーザインタフェースの一番上に表示され、イメージを向上させるときに使用可能なツールがすべて含まれます。

ユーザインタフェース

プログラムの一部で、コマンドや操作を行うためのメカニズムがあります。